

ハエの防除対策をしましょう！

気温が上昇し、ハエの発生が始まる時期となりました。
ハエの防除においては、成虫対策よりも卵・幼虫対策のほうが有効です。

80%

卵

産卵数
50～150個

半日～1日



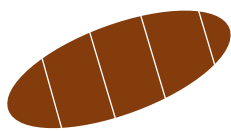
幼虫

4～6日



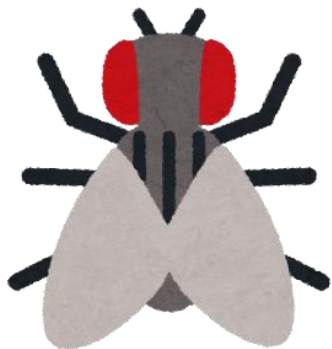
サナギ

4～7日

**20%**

成虫

- ・数回産卵
- ・新鮮便に産卵



※薬剤は、用法・用量を守って使用してください。

畜体にかかると休薬期間が必要になることがあるため、ご注意ください。

卵・幼虫対策

(1) 清潔な状態の維持

- ・ハエは、水分が多く、有機物が多い場所に産卵します。
- ・特に、畜舎の隅、汚水だまり、残餌などを清掃しましょう。

(2) 適切な堆肥処理

- ・高温(40℃以上)、乾燥(50%以下)でふ化率が激減します。
- ・ブルーシートで堆肥を覆い、日光の熱を蓄えて堆肥の温度を上げましょう。1週間間隔での堆肥の切り返しも有効です。

(3) 殺虫剤散布(IGR剤)

- ・IGR剤(幼虫の発育を阻害する殺虫剤)を1ヶ月の間隔で、堆肥舎などに散布しましょう。

成虫対策

(1) 粘着シートの設置

- ・ハエ取り用粘着シートを、地上高1m以内に設置するのが効果的です。

(2) 殺虫剤散布(成虫用)

- ・有機リン系や合成ピレスロイド系等の殺虫剤を散布しましょう。

BLV(牛伝染性リンパ腫)を媒介するサシバエは普段は茂みに潜んでいます。畜舎周りの草刈りも有効です。

岐阜県中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1

TEL : 058-201-0530

FAX : 058-201-0531

Email : c24502@pref.gifu.lg.jp

